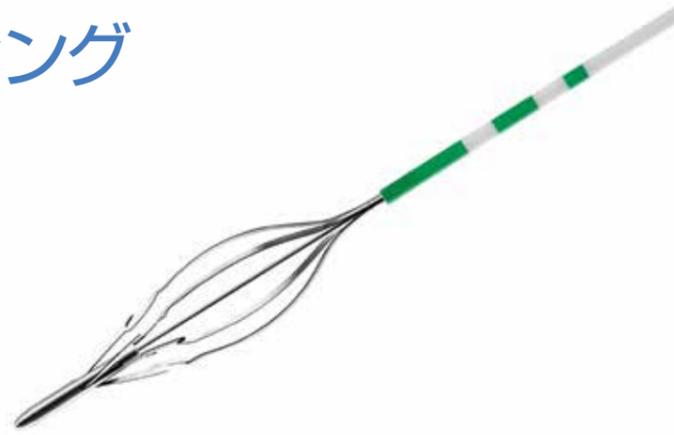


レメイト ハイドロコーティング 静脈弁カッター



レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター

Smooth Sailing in Small Vessels

ORDERING INFORMATION

	製品番号	JANコード
1.5 mm レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター 98cm (ブレード径 1.5-6.0 mm)	1009-00	4571191913227
1.5 mm レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター 40cm (ブレード径 1.5-6.0 mm)	1010-00*	4571191913234

* 印の製品は受注発注品です。詳細はお問い合わせ下さい。

1.5 mm レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター



仕様

製品	フープの最大直径	ブレードの最大直径	ブレードハウジングの外径	保護シースの外径	ブレードから安全マーカまでの距離	深度マーカ	キャップから最初の深度マーカまでの距離 (閉じた状態)
1.5 mm レメイト ハイドロコーティング 静脈弁カッター	9.5 mm	6.0 mm	1.5 mm	1.0 mm	2.3 cm	あり (10 cm 刻み)	10 cm

この仕様は保障されたものではありません。製品の向上のために予告なしに変わることがございます。詳細は担当営業にご確認ください。

【使用目的】

・本品は、大動脈閉塞症におけるバイパス移植術(in-situバイパス法、若しくはnon-reversedバイパス法)において、伏在静脈の静脈弁を開閉するために使用する。

【禁忌・禁止】

・再使用禁止、再滅菌禁止
・「ステンレス鋼」、「ポリウレタン」及び「ポリエーテルブロックアミド」での過敏症を有する患者

特定保険医療材料機能区分
血管内手術用カテーテル 静脈弁カッター 切開径変動型
販売名：レメイト 親水性コーティング 静脈弁カッター
医療機器承認番号：22700BZX00360000



LeMaitre and Your Peripheral Vision are registered trademarks of LeMaitre Vascular, Inc. U.S. patent #5,658,301 and foreign equivalents.
©2015 LeMaitre Vascular, Inc. All rights reserved. Printed in the USA. M0330 Rev.B 02/15 JP 06/18



LeMaitre Vascular, Inc.
63 Second Avenue
Burlington, MA 01803
USA

T +1 781 221 2266
F +1 781 221 2223

LeMaitre Vascular ULC
9135 Keele Street, Suite B6
Vaughan ON L4K 0J4
Canada

T +1 905 832 8077
F +1 905 303 3903

LeMaitre Vascular GmbH
Otto-Volger-Str. 5a/b
65843 Sulzbach/Ts.
Germany

T +49 (0)6196 659230
F +49 (0)6196 527072

レメイト・バスキュラー合同会社
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-9-4
久保寺ソインタワービル1F

TeL. 03-5215-5681
Fax. 03-5215-5682



レメイト ハイドロコーティング 静脈弁カッター

ハイドロコーティング

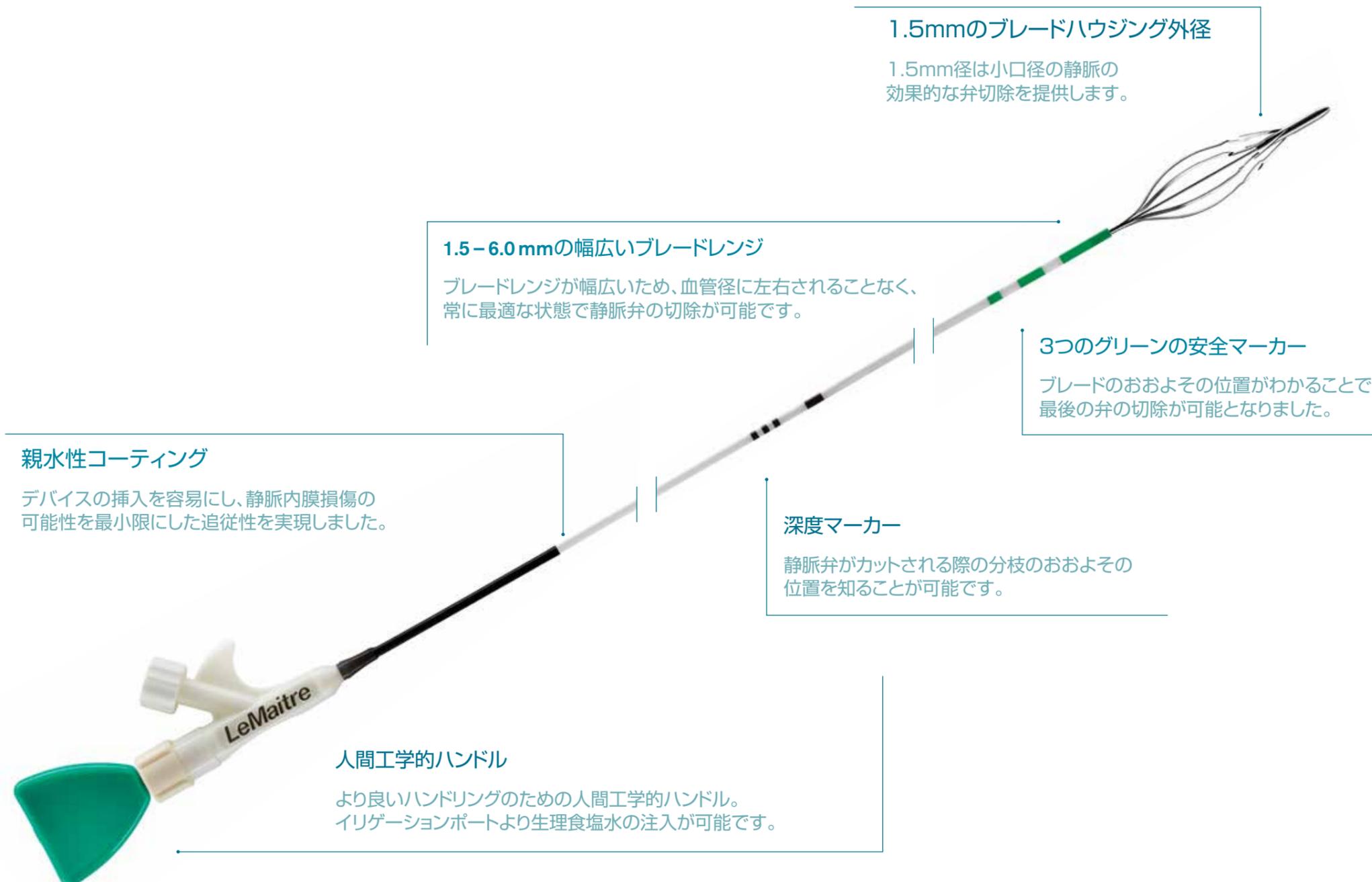
1.5mm径レメイト 静脈弁カッター

親水性コーティングを施し、1.5mmの小口径にすることで、静脈への挿入を容易にし、内膜損傷の少ない、追従性を実現しました。

1.5mm-6.0mmの幅広いブレードレンジにより、小口径の静脈から大口径の静脈まで、最適な状態での静脈弁切除術を可能にしています。

このデバイスは静脈弁切除のための最適なセルフサイジング、セルフセンタリングフープにより、創傷壊死を低減させ、患者の早期回復を助ける画期的な製品です。

レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッターは静脈弁を切除するためのものです。



1.5mmのブレードハウジング外径

1.5mm径は小口径の静脈の
効果的な弁切除を提供します。

1.5 - 6.0 mmの幅広いブレードレンジ

ブレードレンジが幅広いいため、血管径に左右されることなく、常に最適な状態で静脈弁の切除が可能です。

3つのグリーンの安全マーカー

ブレードのおおよその位置がわかることで、最後の弁の切除が可能となりました。

親水性コーティング

デバイスの挿入を容易にし、静脈内膜損傷の可能性を最小限にした追従性を実現しました。

深度マーカー

静脈弁がカットされる際の分枝のおおよその位置を知ることが可能です。

人間工学的ハンドル

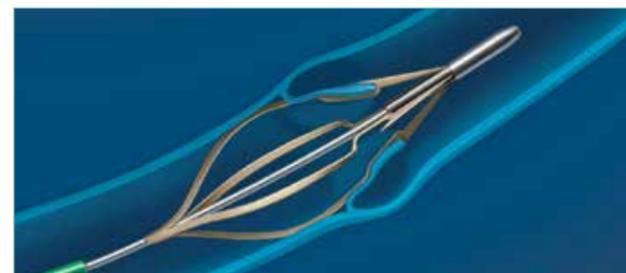
より良いハンドリングのための人間工学的ハンドル。
イリゲーションポートより生理食塩水の注入が可能です。

レメイト ハイドロコーティング 静脈弁カッターの使用法



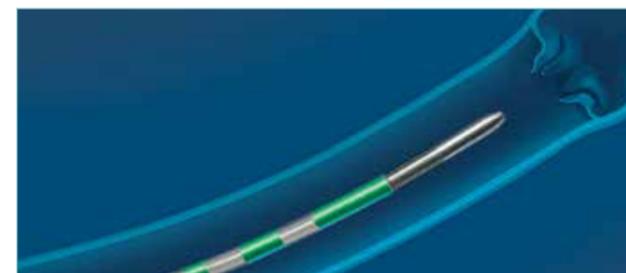
ステップ1

ブレードを収納した状態で弁カッターを、伏在静脈の処置領域(吻合部の遠位2.0から3.0cm程度)まで進めます。ブレード部分は切除目的の静脈弁を通過させた位置に停止させます。



ステップ2

弁カッターのブレードを開き、ゆっくりと伏在静脈内を引いてきます。セルフサイジング、セルフセンタリングフープにより、自動的に静脈内径に適合し最適な状態で弁を切開します。



ステップ3

3つあるグリーンの安全マーカーが、ブレードの位置の目安となります。伏在静脈の外に三番目の最後の安全マーカーが現れたらブレードを収納し、弁カッターを抜去してください。